ブロック住宅完成
木造建築費で耐火建築を
＝坪当り単価三萬五千円＝

耐火建築のよいことは分つている、しかし工事費が高いので賛同しかねる…。このため市では昨年十一月以来旧大館病院跡地に市復興用資材単価による不燃住宅試作品新設工事に着手して居りましたが、このほど木造住宅と大差のない費用で完成されました。

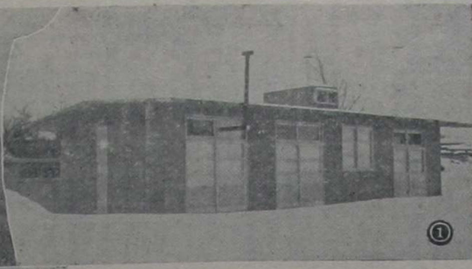
このモデル住宅の建物ブロック造平家建、建坪一九・四坪、広間兼台所、子供部屋、寝室、浴場、便所、物置とつらなり、台所と浴場が建物の中央部にあるのがこの家の特徴更に建物一さいが洋式となつている。

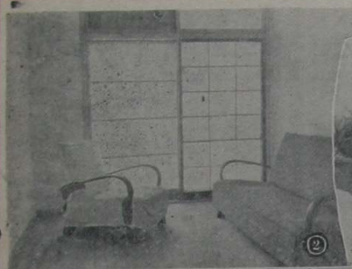
材料は基礎が鉄筋コンクリート造、壁体＝軽量ブロック造、屋根＝鉄筋コンクリート造、床＝ブナフローリング及び一部コンクリートたたき、天井＝プラスターボード張、内壁＝漆喰仕上および一部モルタル仕上外壁＝ユニロン防水吹付仕上、屋上＝ユニロンモルタル防水仕上となつているが総工費は六十七万九千円で坪当り単価は三万五千円となつています

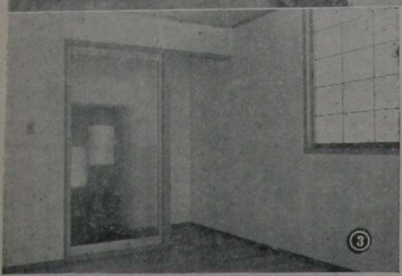
なお使用した資材単価ならびに工事費内訳は次のようになつています。

▽資材（市復興用資材単価）＝セメント一袋二九〇円、鉄筋一トン六万円、ブロック一ケ三五円、砂利一立方メートル三六六円、砂一立方メートル二八三円木材一石三・八〇〇円、フローリング一坪一・二〇〇円、一坪当り資材数量セメント一一・二四袋砂利一・三二立方メートル、砂〇・八八平方メートル、鉄筋〇・〇七四トン、ブロック六三・四一ケ、型枠三・七二型、木材一・一一石、フローリング〇・七七坪ガラス一四・四四平方尺

▽工事費内訳＝仮設工事一八・二五円、基礎工事一一・一九円、壁体ブロック六八・五八七円、型枠六六・三七〇円コンクリート工事七九・七六〇円、鉄筋工事九八七〇円、左官工事三六・八二〇円、塗装工事一二・三〇〇円、電気工事九・八三六円、建具工事五七・八五〇円、給排水工事二八・九四三円、木工事十四四〇〇円、雑工事八・七〇円、防水工事五万円合計六七九・〇〇〇円







写真説明 ＝ 1, モデル住宅全景　2, 寝室　3, 居間兼台所（玄関口）

＝「アンケートの結果報告」＝

政治常識の一端を覗く

去る一月、今年度新たに有権者となつた成人に対し政治常識の実態調査という大それた意図はなかつたが一、〇三九名を対照としてアンケートを行つた。

その回答は三二四名（男一六八名、女一五六名）で三一、二％となつているが主なるものについて報告したいと思います。

一　本選挙人名簿は毎年作られることを知つているかどうか

区分	知つている	知らない	その都度作られる
男	73,1	10,7	16,1
女	67,3	17,3	15,4
中卒	66,1	17,7	16,1
高卒	76,1	8,7	15,2
平均	70,4	13,9	15,7

二　あなたは名簿に登録されているかどうか

区分	いる	いない	当然登録されている
男	41,1	30,4	28,5
女	28,8	42,3	28,8
中卒	33,9	38,7	27,5
高卒	37,0	32,6	30,4
平均	35,2	36,1	28,7

二　過去における選挙は公明に行われたかどうか

区分	いる	いない	わからない
男	20,9	59,5	19,6
女	7,7	71,2	21,2
中卒	12,9	59,7	27,5
高卒	16,7	72,5	10,9
平均	14,5	65,1	20,4

純心な新有権者があまりにも過去の選挙の実態に対する痛烈な批判と非難がきびしく窺われる。

三　投票は党か人か、どちらに重点をおくか

区分	党	人	わからない
男	35,7	60,7	3,6
女	25,0	61,5	13,5
中卒	25,8	66,1	8,1
高卒	37,0	54,3	8,7
平均	30,6	61,1	8,3

「人」に重点をおくと回答した者が大多数を占めているが事実上誰に投票するか、その基準を候補者の所属政党又は人物におくかということは、選挙の種類によつて異ることは考えられるが、高卒以上の者は党に重点をおくとし、中卒以上に比して一二％上廻つている。

四　その他回答者の意見中主なるものをあげると次のとおりである。

④ 立合演説会の開催回数を殖やせ

立会演説会は候補者をきめるため最もよい方法であるし、個人演説会とか街頭演説における弁士の発言に責任がないという手きびしい意見もある

最後に附言したいことは公明選挙に関する新有権者の意見は、何れもまだまだその推進を期待しているということである。

（一面より続く）

国民健康保険事業

長木村外五カ町村の合併により、前年度にくらべて、療養諸費については約千七十八万円、助産費は約十二万円、葬祭費では約十三万円とそれ〴〵増額になつております。

又、保険施設として、長木、下川沿、二井田地区に保健婦を駐在せしめ、指導医との連絡をとつて被保険者の保健向上につとめました。

（千円）

区分	収入	区分	支出
国保税	16,659	役所費	4,563
国庫支出金	9,468	保険給付金	24,955
市費繰入金	5,500	保健施設費	1,393
手数料及び雑収入	206	諸支出金	921
計	31,833	計	31,822

上水道事業

総工費一億六千万円（三ケ年継続）の初年度事業としては、集水槽築造工事＝三百万円、送水為（四六五米）の布設及び送電施設、ポンプ上屋建築工事＝五百万円、用地買収その他八十万九千円、で総建設工事費は八百八十万九千円となつております。

（千円）

区分	収入	区分	支出
国庫支出金	1,350	水道工事費	11,111
市費繰入金	2,634	公債費	181
市債	7,000		
給水工事其他雑収入	318		
計	11,302	計	11,302

▲公益質屋事業＝二十九年秋に開設してから、三十年、三十一年とみた場合、逐年利用者が増えております。

▽貸付金延べ五百三十二万四千ト▽貸付口数七千四十八▽入質点数一万三千三百七十十となつております。

利用者を職業階層別にみた場合▽サラリーマン三一％▽労働者一九％▽工業者一〇％▽農業者四％▽その他一六％でありま

温泉開発事業

本年度事業としては、温泉汲上げポンプ室と共同浴場の維持管理並びに、労災病院用泉源のボーリング着手という程度でした。

収入は市費繰入金二百十万円、支出は維持修繕費百九十万円となつております。

（千円）

区分	収入	区分	支出
貸付金	4,494	事務費	545
仝利子	470	事業費	4,641
流質処分	36	公債費	288
繰入金	415		
繰越金	75		
計	5,492	計	5,474

桂城土地区画整理事業＝収入は土地売払代金百八十三万六千円、支出は区画整理事業費十八万円で差引百六十五万六千円が繰越となつております。

恩給基金＝市職員の退職年金として、市職員納付金と同額の市負担金によつて、基金が蓄積されているものです。本年度の才入としては、職員納付金及び市負担金が百二十四万円、合併にともなう"町村恩給組合からの"脱退引継金が七百二十六萬円八千円、一般会計繰出金戻入が十五万円、それに繰越金利子収入が七万九千円合計八百七十三万七千円となつており、一方才出では、恩給交付金が五百二十万一千円、基金、積立金が三百五十三万六千円、合計八百七十三万七千円となつております。本年度の恩給交付金が、このように巨額にのぼつたのは、勧奨による勇退退職者が数十名もあつたからで、平常年額は大体百五十万円前後となります。なお昭和二十六年市制施行と共に市単独で恩給基金制度を設けて以来三十年度末現在迄の基金の科目別累計並びに現在高は別表の通り

	科目	金額（円）
(A) 才入	恩給組合引継金	8,526,388
	職員納付金	2,153,073
	市積立金	1,530,325
	基金運用利子	364,242
	計	12,574,028
(B) 才出	退職料	831,924
	遺族扶助料	45,196
	退職給与金	4,647,456
	死亡給与金	331,872
	計	5,856,488
A―B	恩給基金（現在高）	6,717,580
	内一般会計への現在繰出額	1,000,000

30年度決算における才入才出款別性質別執行状況

（単位千円）

区分	議会費	役所費	消防費	土木費	教育費	労働施設費及び社会費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	失業対策費	火災復興費	水害復旧費	予備費	合計
消費的経費 人件費	3,439	44,338	7,046		12,106	2,530	257	3,230	15	582	1,2'3		20,238		353			95,357
消費的経費 物件費	5,704	14,180	4,791	546	22,898	2,827	3,067	4,478	1,976	116	1,034		10,244		3,124			75,073
消費的経費 その他	129	661	626	6,509	4,533	38,311	1,766	4,551	4,027	36	37		13,778					74,964
投資的経費 公共事業費			3,500	12,109	16,678	19,609									12,390			64,286
投資的経費 単独事業費			718		6,918			92	6,339							3,407		17,474
投資的経費 その他														9,733				9,733
公債費												24,079						24,079
繰上充用金													93,725					93,725
その他													8,759					8,759
合計A	9,362	59,179	16,681	19,164	63,131	63,277	5,090	12,351	12,357	734	2,294	24,079	146,744	9,733	15,867	3,407		463,450
特定財源 国県支出金			1,040	7,670	10,816	43,469	1,237	3,390		384	650		820	5,469	6,198			81,123
特定財源 起債			1,710	2,400	10,000	4,500							11,500	2,000	7,500	3,000		47,610
特定財源 財産処分								6,338					10,723					17,061
特定財源 寄附金・その他			50	177									1,769					1,996
特定財源 計			2,800	10,247	25,816	47,969	1,237	3,390	6,338	364	650		24,812	7,469	13,698	3,000		147,790
一般財源 市税	8,106	45,754	10,250	2,137	15,499	4,872	1,689	6,170	1,686	192	1,210	20,412	5,975	614	101	363		125,030
一般財源 地方交付税	1,256	12,283	3,420	3,480	19,460	7,483	1,862	2,777	1,613	178	358	1,209	4,662	1,650	2,000	44		63,735
一般財源 その他		1,142	211	3,300	2,356	2,953	302	14	2,720		76	2,458	7,334		68			22,934
一般財源 計B	9,362	59,179	13,881	8,917	37,315	15,308	3,853	8,961	6,019	370	1,644	24,079	17,971	2,264	2,169	407		211,699
合計	9,362	59,179	16,681	19,164	63,131	63,277	5,090	12,351	12,357	734	2,294	24,079	146,744	9,733	15,867	3,407		359,489
繰上充用金													103,961					103,961
才出総計に対する一般財源比 A÷B	100.0	100.0	83.2	46.5	59.1	24.2	75.7	72.6	48.7	50.4	71.7	100.0	12.2	23.3	13.7	12.0		